

2023-2024 日本語・日本文化研修留学生報告書

# 日本語・日本文化レポート集

2024年9月

東北大学高等教養教育・学生支援機構

言語・文化教育センター

# 目 次

## 初級日本語教科書における「ちょっと」の分析

—「いろどり」を中心に—

..... 1

ピティウィラ リヤナゲー ドゥラーンジャリー カウシャルヤー/  
PITIWILA LIYANAGE Dulanjalee Kaushalya

(スリランカ, ケラニア大学)

(スリランカ, ケラニア大学)

## 韓国の高等学校教科書『日本語 I』における形容詞の語彙分析

—2015 改正教育課程を中心に— ..... 8

裴 貞炫 / BAE Jeonghyu

(韓国, 忠南大学)

# 初級日本語教科書における「ちょっと」の分析 — 「いろいろ」を中心に —

ピティウィラ リヤナゲー ドゥラーンジャリー カウシャルヤー  
(PITIWILA LIYANAGE Dulanjalee Kaushalya)  
(スリランカ・ケラニア大学)

## 1. はじめに

日本語学習者にとって、日常会話で頻繁に使用される言葉と表現の習得は重要である。「ちょっと」という言葉は、日本語の日常会話において多様な場面で使用される言葉の一つである。例えば、「ちょっと頭が痛いんです」は程度が小さいことを表すが、「今日はちょっと約束があります」は断りに、「日本語でレポートを書いたんですが、ちょっと見ていただけませんか」は依頼・お願いに使われる。これは、日本語母語話者は無意識に使い分けているが、非母語話者にとっては、使い分けが困難である。

「ちょっと」という言葉は、初級レベルの学習者にとって理解と使用が難しい言葉の一つである。その理由は、「ちょっと」が多義的であり、文脈によって異なる意味を持つからである。このような理由から、「ちょっと」の誤用は依然として見られる。本論文では、初級日本語教科書『いろいろどり』を分析する。初級の教科書を対象とした理由は、初級が日本語学習の基礎であり、学習者数も最も多いためである。初級学習者向けの教科書で、「ちょっと」という言葉がどのように選定され、会話場面で提示されているのか、興味深いところである。

## 2. 先行研究

日本語の「ちょっと」について分析をした研究がいくつかある。

### 2.1 婉曲表現としての「ちょっと」

秋田(2005)は、程度が小さくないことにも「ちょっと」が使われる理由について、最初から婉曲表現としての機能や意味を有してはいないが、程度副詞としてはたらくことを経由して、文の和らげなど、結果として婉曲的に聞こえるためだと述べている。

### 2.2 日本語教育での提示方法

岡本・斎藤(2004)は、日本語教育での提示方法について、多義性を持つ「ちょっと」は、依頼の場合は「ちょっと」を挿入する、断る場合は「～はちょっと…」の形で言いさし表現にする等、語彙としての意味用法は関連づけず、限られた文脈での意味用法を教えているのが一般的だと述べている。

## 2.3 外国人は「ちょっと」をどう学ぶか

加藤（2019）は日本語教科書（『みんなの日本語初級 I・II』）の中の「ちょっと」の用法を、以下のように6つに分類している。

- 1) 断り（ちょっと+理由）  
例：今日はちょっと約束があります。
- 2) 依頼・お願い  
例：日本語でレポートを書いたんですが、ちょっと見ていただけませんか。
- 3) 注意喚起・呼びかけ  
例：あ、ちょっと待ってください。
- 4) 程度  
例：ちょっと頭が痛いんです。
- 5) 気軽な誘い  
例：ちょっと飲みに行きませんか。
- 6) 気軽な行動（短時間で済む行為）  
例：だれか来たようですから、ちょっと見て来ます。

## 2.4 「ちょっと」の多様な意味・用法

辻（2022）は、「ちょっと」の意味・用法を7種類に分類している。各意味・用法での下位分類がある場合に、それが「話し手の判断を遠慮しながら伝える」という意味・用法の場合には、「①肯定的な態度を遠慮しながら伝える」、「②否定的な態度を遠慮しながら伝える」、「③状態を遠慮しながら伝える」のように分類されている。

以上のように、先行研究における、日本語の「ちょっと」の用法について分析しているが、初級日本語教科書（「いろどり」）における「ちょっと」の意味・用法に関しては、多くは研究されていないのが現状である。

## 3. 研究目的

本研究の目的は初級日本語教科書における会話例で「ちょっと」という言葉がどのような場面で使われているかを明らかにすることである。

## 4. 研究方法

### 4.1 調査概要

本研究では、まず、先行研究から「ちょっと」がどのような場面で使われているかをまとめる。次に、初級レベルの日本語教科書を選択し、その教科書における会話例で「ちょっと」という言葉が使われている箇所を探し、先行研究と比較して、「ちょっと」の用法を分類する。

分析する日本語教科書は、表1のように、出版年が新しい総合教科書である『いろどり』3冊である。

表 1 調査教科書

国際交流基金『いろどり入門』2020
国際交流基金『いろどり初級 I』2020
国際交流基金『いろどり初級 II』2020

## 4.2 分類方法

本研究では、表 2 に示す加藤 (2019) の用法分類に従う。

表 2 加藤 (2019) による分類

分類	用例
1. 断り (ちょっと+理由)	今日はちょっと約束があります。
2. 依頼・お願い	日本語でレポートを書いたんですが、ちょっと見ていただけませんか。
3. 注意喚起・呼びかけ	あ、ちょっと待ってください。
4. 程度	ちょっと頭が痛いんです。
5. 気軽な誘い	ちょっと飲みに行きませんか。
6. 気軽な行動 (短時間で済む行為)	だれか来たようですから、ちょっと見て来ます。

『いろどり入門』、『いろどり初級 I・II』に提示されている「ちょっと」を含む会話例をすべて抽出した。加藤(2019)の分析方法に基づき、これらの用例を 1~6 に分類した。表 2 の 6 つの意味・用法に分類しにくい例は、「その他」として分類した。

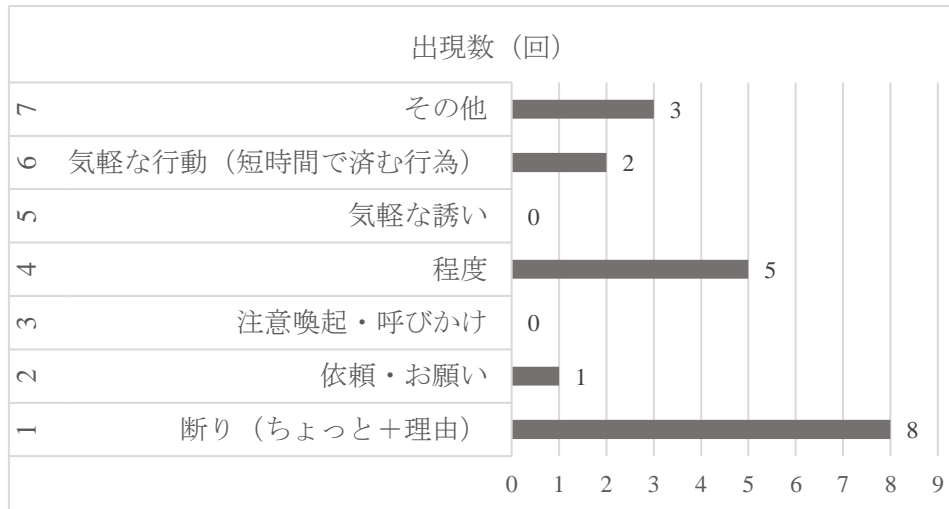
## 5. 結果と考察

以下、『いろどり入門』、『いろどり初級 I・II』に提示されている「ちょっと」を含む会話例の意味・用法について分類した結果を述べる。

### 5.1 結果

表 3 は『いろどり入門』の「ちょっと」の意味・用法分類の結果を示したものである。もっとも多いのは「断り (ちょっと+理由)」という用法で、『いろどり入門』の中に、8 つの例が提示されている。「あ、梅干しは、ちょっと…… (第 5 課)」「あ、わさびは、ちょっと…… (第 5 課)」「すみません。土曜日はちょっと…… 私は、日曜日がいいです。(第 9 課)」のような理由を付け加えない表現が定着してしまうことがある会話例が多い。次いで「程度」も多い。例えば、「それから、温泉の近くで、鶏の天ぷらを食べました。おいしかったです。でも、ちょっと高かったです。(第 18 課)」「はい、きれいです。でも、ちょっと古いです。(第 7 課)」「ちょっと古いです。でも、広いです。(第 7 課)」である。「依頼・お願い」を表す会話例は一つ提示されている。 (「ちょっと、そのドライバー、取って。(第 10 課)」。しかし、「気軽な誘い」と「注意喚起・呼びかけ」の用法がある会話例は提示されていない。

表3 『いろどり入門』のちょっと



また、これらの分類を行ったところ、先述の6つの意味・用法には分類しにくい例があった。それは、「ちょっと、わかりません。」という用法で、『いろどり入門』の中だけで3度も提示されている。それについて、高野 (2016) は、グループ・ジャマシイ編著 (1998) 『教師と学習者のための日本語文型辞典』では、「ちょっとわかりません」という用法は、「ちょっと・ない」の形で、「語調の和らげ」に該当すると述べている。

表4は『いろどり初級I』の「ちょっと」の意味・用法分類の結果を示したものである。もっとも多いのは「程度」を表す会話例で、それは『いろどり初級I』の中に、14の会話例が提示されている。例えば、「ちょっと、すずしくなりました。(第3課)」「ちょっと遠いけど、バスがあります。(第3課)」「6時はちょっと早いです。6時半でもいいですか？(第3課)」「みかん、ちょっとすっぱそうですね。(第12課)」である。次いで「断り (ちょっと+理由)」も多い。例えば、「ちょっと無理ですね。(第9課)」「あ、生の卵はちょっとだめです。すみません。(第12課)」「う、……すみません。すっぱくて、ちょっと苦手です。(第12課)」と「すみません。私、高いところはちょっと……(第8課)」のような理由を付け加えない表現が定着してしまうことがある会話例もある。また、「気軽な行動 (短時間で済む行為)」を表す会話例が4つ提示されている。例えば、「あ、その前に、ちょっとトイレ。(第7課)」「あ、ちょっと飲み物を買って来てもいいですか？(第7課)」「そう。じゃあ、ちょっとコーヒー買って来る。(第15課)」「ちょっとでたばこを吸って来てもいいですか？(第14課)」である。「社長、ちょっと、いいでしょうか？(第14課)」と「あ、ちょっとトイレに行って来てもいいですか。(第14課)」は「依頼・お願い」を表す会話例で、それは2つが提示されている。「気軽な誘い」の意味で用いられる「ちょっと」は、『いろどり初級II』の会話例にあまり入っていない。「気軽な誘い」の「ちょっと、見せてもらえませんか？(第7課)」という会話例だけ提示されている。また、「注意喚起・呼びかけ」を用いられる会話例は提示されていない。

表4 『いろどり初級 I』 のちょっと

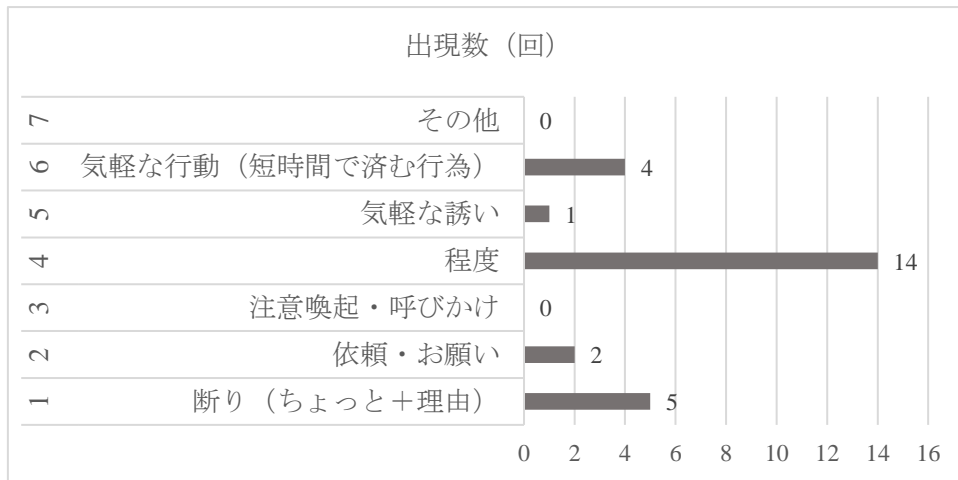


表5 『いろどり初級 II』 のちょっと

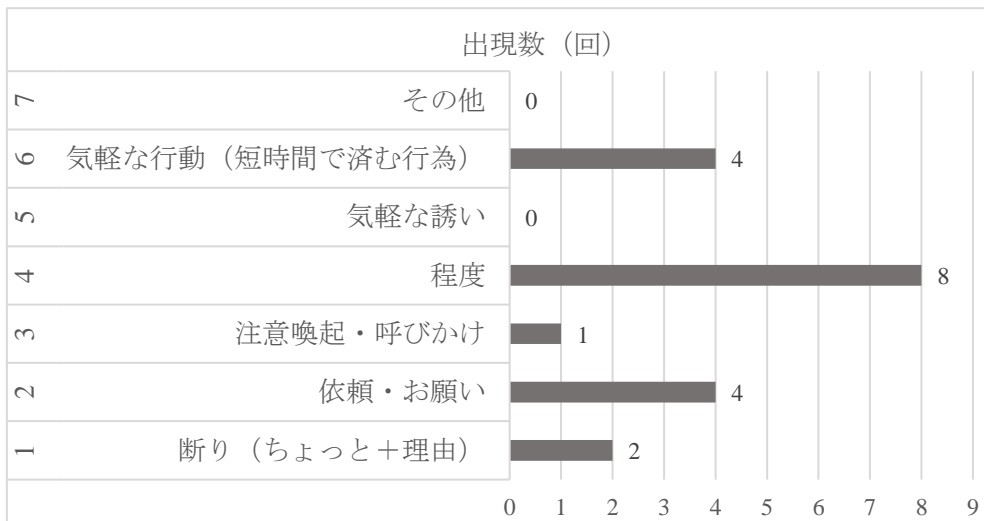


表5は『いろどり初級 II』の「ちょっと」の意味・用法分類の結果を示したものである。もっとも多いのは「程度」を表す会話例で、それは「いろどり初級 1」の中に、8つの会話例が提示されている。例えば、「ちょっと固いです。(第4課)」「ウミネコが近くに来たとき、ちょっとこわかったです。でも、おもしろかったです。(第6課)」「すみません、ほかの色、ありませんか？この色はちょっと派手すぎます。(第11課)」「そうですね。お店の人に相談できないので、ちょっと心配でしたけど、安くて、よかったです。(第12課)」である。次いで「依頼・お願い」と「気軽な行動 (短時間で済む行為)」も多く、それぞれの会話例が4つを提示されている。例えば、「あのう、ちょっと聞きたいことがあるんですけど…… (第6課)」「あのう、ちょっといいですか？ (第10課)」「すみません、ちょっと質問があるんですが…… (第14課)」「みなさん、ちょっと集ってください。えーと、今日は、フーさんの、最後の日です。じゃ、フーさんから、ひとこと、あいさつ、いいですか？ (第18課)」は「依頼・お願い」を表す会話例である。また、「ちょっと見てみますね。新宿からですね。」「温泉ですか。中禅寺湖のホテルに、日帰りでお風呂に入れるところがあると思いますよ。ちょっと調べてみましょうか。(第6課)」「そうなんですか。ちょっと写真を見

てみます。……あー、きれい！いいですね。(第5課)」は「気軽な行動(短時間で済む行為)」を表す会話例である。そして、「注意喚起・呼びかけ」を表す会話例が一つあった。それは「3センチぐらい切ってください。えーと、ちょっと待ってください。(第14課)」である。しかし、「断り(ちょっと+理由)」を表す会話例として、「うーん、ほかの人といっしょにお風呂に入るのは、ちょっと……(第5課)」と「あ、本当ですね。軽い！でも、Cデザインがちょっと……(第12課)」だけ提示されており、理由を付け加えない表現が定着してしまうことがある例文である。また、『いろどり初級II』には、「気軽な誘い」を用いた会話例は提示されていない。

## 5.2 考察

『いろどり入門』『いろどり初級I』『いろどり初級II』という三つの初級日本語教科書の中に「ちょっと」という言葉は、日常会話や職場でのやり取り、買い物やサービスの場面など、多様な文脈で使用されている。最も使用されている「ちょっと」の意味・用法は「程度」を表す会話例である。次いで「断り(ちょっと+理由)」も多い。それは、「来週の火曜日ですね。火曜日はちょっと……。すみません(いろどり入門-第12課)」という誘いを断るときの婉曲表現、「あ、わさびは、ちょっと……(いろどり入門-第12課)」という理由を付け加えない表現が定着してしまうことがある例文もある。

「ちょっと」は「少ない」「少し」という意味を表す言葉であるが、日常会話で、多様な場面で、さまざまな意味を表す言葉である。そのため、学習者が「ちょっと」を適切に使えるようにするためには、「ちょっと」を正確に理解し、文脈を重視し、実践的な練習を積み重ねることが重要である。さらに、他の日本語表現との比較を通じて、学習者はより自然な会話ができるようになる。例えば、「ちょっと」と「少し」は似ているが、微妙なニュアンスの違いがある。小泉(2015)は「少し」と「ちょっと」の心理的距離と数量性イメージについて、友達や親しい人には「ちょっと」、上司や先輩には「少し」を使い、「少し」の数量性イメージが濃く、「ちょっと」の数量性イメージが薄いと述べている。また、ロールプレイや実際の会話練習を通じて、実践的な使用方法を習得させることが有効である。

## 6. 終わりに

本研究では、初級日本語教科書「いろどり」における「ちょっと」の使用状況を分析し、その意味や文脈、教育的意義を明らかにした。本論文では、『いろどり入門』『いろどり初級I』『いろどり初級II』の「ちょっと」を分類し、①断り ②依頼・お願い ③注意喚起 ④程度 ⑤気軽な誘い ⑥気軽な行動(短時間で済む行為)と6つの意味・用法を確認することができたが、これ以外の例文もあることがわかった。例えば、「ちょっとわかりません。(いろどり入門-第13課)」「あー、ちょっとわかりません。(いろどり入門-第8課)」「あー、すみません。ちょっと、わからないですね。(いろどり入門-第13課)」は上記の6つの分類に入らない例文である。結果として、「ちょっと」は多義的で文脈に依存する言葉であることが確認された。

以上のように、「ちょっと」の6つの意味・用法を確認することができた。しかし、先述の6つの意味・用法には分類しにくい例があったため、さらに分類方法を検討することが、今後の課題と



して挙げられる。また、中級日本語教科書の中級日本語教科書における「ちょっと」の意味・用法についても分析したいと考えている。

#### 参考文献

秋田恵美子 (2005) 「現代日本語の『ちょっと』について」 『創価大学別科紀要』 17, pp.77-89

岡本佐智子・斎藤シゲミ (2004) 「日本語副詞『ちょっと』における多義性と機能」 『北海道文教大学論集』 5, pp.65-76

加藤香須美(2019) 「日本語教科書の中の『ちょっと』：外国人は『ちょっと』をどう学ぶか」 『日本国際情報学会誌』 1, pp.49-55

小泉穰子 (2015) 「『少し』と『ちょっと』の比較分析：アンケート調査による使用頻度の差異」 『山口大学人文学部国語国文学会』 38, pp.73-86

高野愛子 (2016) 「程度副詞『ちょっと』をめぐる文体差：日本語学習者作文コーパスから見られる傾向」 『語学教育研究論叢』 33, pp.333-355

辻周吾 (2022) 「日本語の『ちょっと』の意味・用法に関する一考察」 『流通科学大学論集』 1, pp.65-79

# 韓国の高等学校教科書『日本語 I』における形容詞の語彙分析

## —2015 改正教育課程を中心に—

裴 貞炫 (BAE Jeonghyun)  
(韓国・忠南大学)

### 1. はじめに

多文化社会である現在、外国語学習と外国文化の理解はグローバル市民が備えるべき徳目になった。このようなグローバル時代において、韓国の教育課程では外国語教育の重要性が大きくなった。特に地理的に近い国である韓国と日本は長い間政治、経済、文化交流を通じて密接な関係を結んでおり、持続的な交流のために日本語教育はより一層重要視されるようになった。

韓国の高等学校における日本語教育は 1973 年にはじまり、様々な問題点の補完・改善を経て改正され、現在 2015 年の教育課程の形に至った。現行の韓国高校の日本語教育は教育部が定めた「2015 改正教育課程」に基づいている。教育部とは、日本の文部科学省のような位置付けにあり、教育機関における教育活動の基準を体系的に定めている。教育課程は、教科で教える内容の基準や課程と、想定される結果を含む指針を示した文書のことである。

韓国の高等学校の外国語教科の授業数は主要科目に比べて少ない。韓国では教育部が指定した基本語彙を中心に使用頻度の高い語彙を学習するように提示している。高等学校教科書『日本語 I』の語彙体系を調べると、教育部が指定した基本語彙 939 語の中から 500 語前後の単語を使うように指定されている。「2015 年度教育課程」は、日常生活に必要な基礎的な日本語コミュニケーション能力を培い、日本人と交流できる能力を育てることが目標である<sup>1</sup>。しかし、韓国の日本語教科書において、この目標の達成に必要な語彙が十分に提示されていない場合が多いと考える。特に、日常生活でよく使う物の性質や状態を表す形容詞は教育目標の達成のために重要だと考えるが、実際の教科書に使われている形容詞は基本語彙に比べて少ない。そのため、筆者も学生時代や教育実習の際、教科書では不十分であり、補足資料を必要とした経験もある。このような理由から、教材研究の必要性を感じた。本研究は「2015 改正教育課程」の教育部の基本語彙を基準に教科書『日本語 I』を分析し、これによる問題点を把握して形容詞語彙選定および教科書の改善方向を提示する。

### 2. 研究目的

本研究は、現在の韓国の教育課程である「2015 改正教育課程」に基づく高等学校日本語教科書 5 種を対象に、教育部が提示した基本語彙形容詞がどれだけ反映されているかを分析し、得られた問題点とそれに対する改善案を提示することを目的とする。

### 3. 先行研究

韓国の日本語教科書に関する研究は、日本語教育が始まった 1973 年以来、活発に行われている。日本語教育が始まった第 2 次教育課程から 2015 改正教育課程まで計 9 回にわたり改編され、語彙分析を始め、動詞、文化など多様に研究されてきた。先に、先行研究でよく取り上げられている 2015 改正教育課程の語彙分析に関する論文を取り上げる。

咸・チャンスル(2021)は「2015年改正教育課程」高等学校教科書『日本語Ⅰ』の8種のすべての語彙を対象に、基本語彙をどの程度反映しているかを調査・分析している。分析した結果、基本語彙は十分反映しているが、教育課程で提示していない語彙が全体の30~40%を占めると指摘している。また、教科書間の共通度が半分にも及ばず、これを高められるようにする方案が検討されなければならないと述べている。

形容詞に関する研究は多様である。本研究と関連して、高等学校『日本語Ⅰ』教科書の形容詞に関する研究を見ていこうと思う。

李聖愛(2012)は「第7次教育課程」の高等学校『日本語Ⅰ』教科書12種を調査対象に基本語彙と比較・分析した結果、すべての教科書において掲載されている語彙が基本語彙の半分にも満たず、基本語彙は必ず扱うべきだと述べている。また、基本語彙であるにもかかわらず、1種の教科書だけでしか扱っていないということは教育目標に符合しないと指摘している。さらに、体系的な学習を助けるために、一つの単元で集中的に扱った後、反復的な学習ができるように学習段階に合わせて教科書を編纂することを提案している。

金明宣(2015)は、「2007年改正教育課程」に教育部が提示した形容詞の基本語彙選定が教科書と修学能力試験にどの程度適合するかを検討した。高等学校『日本語Ⅰ』教科書と修学能力試験の既出問題を対象にして、基本語彙の反映率、共通語彙、出現していない語彙を比較・分析した。その結果、教科書の平均基本語彙反映比率はイ形容詞29.5%、ナ形容詞41.1%であり、修能既出問題に出題された平均基本語彙反映比率はイ形容詞27.7%、ナ形容詞31.2%であった。そして教育部の基本語彙選定において、教科書と修学能力試験の既出問題に一度も出現したことのない基本語彙に対する検討および基本語彙の縮小を提案した。

このように、「第7次教育課程」と「2007年改正教育課程」を対象とした高校の『日本語Ⅰ』教科書を中心とする形容詞に関する研究では、基本語彙の縮小を提案している。しかし、現在韓国日本語教育で施行中の「2015改正教育課程」において、形容詞に関する研究はあまり行われていない。よって形容詞の分析の必要性を感じ、「2015改正教育課程」を中心に基本語彙と教科書の語彙を比較して形容詞に関する研究をしようとする。

## 4. 研究対象及び研究方法

### 4.1 研究対象

研究対象としては、「2015改正教育課程」に該当する高等学校『日本語Ⅰ』検定教科書5種に出現する形容詞を対象として、韓国の教育部が提示した基本語彙と比較した。

#### 4.1.1 高等学校『日本語Ⅰ』教科書5種

調査対象として使用した「2015改正教育課程」の高等学校の『日本語Ⅰ』教科書は表1の通りである。

以下の教科書は現在高校で使用されている教科書で、次の表1のように教科書名、出版社名、著者名、出版年の順に示した。

<表 1> 2015 改定教育課程教科書『日本語 I』 5 種一覧

区別	教科書名	出版社	著者	出版年
A	高等学校 日本語 I	Gilbut	パク・ユンウォン他 6 名	2017
B		能率教育	パク・ヘンジャ他 7 人	2017
C		天才教科書	ペ・ホンチョル他 5 名	2017
D		MiraeN	オ・ヒョンジョン他 5 人	2017
E		darakwon	ユン・グァング他 3 名	2017

#### 4.1.2 基本語彙

教育目標を達成するためには、教育部が提示した基本語彙を十分に反映しなければならない。したがって、教育部が提示した基本語彙のイ形容詞 78 語、ナ形容詞 35 語を対象とする。

#### 4.2 研究方法

本研究の調査方法は次のとおりである。

1. 「2015 改正教育課程」にともない教育部が提示した基本語彙のうち、形容詞をイ形容詞とナ形容詞に区分して採択する。
2. 「2015 改正教育課程」高等学校『日本語 I』教科書 5 種を採択し、各教科書に収録されたすべての形容詞を把握する。
3. 基本語彙と各教科書に現れた語彙を比較分析し、基本語彙をどの程度忠実に反映しているのか、どの程度一致するのかを把握する。
4. 結果を基に問題点を把握し、改善方を提示する。

#### 4.3 形容詞の定義

形容詞の定義は『日本国語大辞典』では次の通りである<sup>2</sup>。

##### 形容詞

国語の品詞の一つ。動詞、形容動詞とともに用言に属する。(中略) 述語、連体修飾語、連用修飾語その他とし事物の性状または事物に対する感情を表わす。

##### 形容動詞

国語の品詞の一つ。動詞、形容詞とともに用言に属する。事物の性質、状態を表わす点は形容詞と同じであるが活用を異にする。

「2015 改正教育課程」の『日本語 I』5 種ではすべて形容詞は「イ形容詞」、形容動詞は「ナ形容詞」と表記されている。よって、本研究においても「イ形容詞」「ナ形容詞」と名称することとする。

## 5. 結果

### 5.1 基本語彙

「2015 改正教育課程」で教育に必要なだと提示した基本語彙は<表 2>のように、イ形容詞 78 語、ナ形容詞 35 語である。

<表 2> 基本語彙表

イ形容詞 (78 語)	ナ形容詞 (35 語)
青い 赤い 明るい 暖かい (あったかい) 新しい 暑い 熱い 危ない 甘い いい/ 良い いけない 忙しい 痛い 薄い 美 しい うまい うるさい 嬉しい 美味し い 多い 大きい おかしい 遅い 重い 面白い 硬い かっこいい 辛い 軽い 可愛い 黄色い 汚い 暗い 黒い 詳し い 細かい 怖い 寒い 親しい 白い 少ない すごい 涼しい 酸っぱい 素晴 らしい 狭い 高い 正しい 楽しい 小 さい 近い 冷たい 強い 遠い ない 長い 眠い 早い 速い 低い 広い 深 い 太い 古い 欲しい 細い まずい 丸い 短い 難しい 珍しい 易しい 優 しい 安い よろしい 弱い 若い 悪い	一生懸命だ いやだ いろいろだ 同じだ 簡単だ 嫌いだ きれいだ 結構だ 元気 だ 残念だ 静かだ 邪魔だ 十分だ 上 手だ 丈夫だ 親切だ 好きだ すてきだ 大事だ 大丈夫だ 大好きだ 大切だ 大 変だ 駄目だ 得意だ 苦手だ にぎやか だ 暇だ 不便だ 下手だ 便利だ まじ めだ 迷惑だ 有名だ 立派だ

\*「～らしい」、「～やすい」などについては形容詞であるが、単体では使われない語彙なので含めなかった。

### 5.2 各教科書の語彙

<表 3>、<表 4>は 5 種の教科書で示されたイ形容詞とナ形容詞の語彙が教育部が指定した基本語彙とどの程度反映するかを調べた結果である。

<表 3> イ形容詞語彙数

区別	基本語彙 数	教科書 語彙数	扱われていない 語彙数	基本語彙反映比率 (%)	基本語彙一致比率 (%)
A	78	30(1)	- 48	37.1	96.7
B	78	23	- 55	29.5	100.0
C	78	19	- 59	24.4	100.0
D	78	27	- 51	34.6	100.0
E	78	26	- 52	33.3	100.0

＜表 4＞ ナ形容詞語彙数

区別	基本語彙数	教科書語彙数	扱われていない語彙数	基本語彙反映比率 (%)	基本語彙一致比率 (%)
A	35	12	-23	34.3	100.0
B	35	9	-26	25.7	100.0
C	35	11	-24	31.4	100.0
D	35	10	-25	28.6	100.0
E	35	15	-20	42.9	100.0

各教科書に現れたイ形容詞の基本語彙は平均 24.8 語で、A 教科書が 29 語で最も多く、D 教科書が 27 語、E 教科書が 26 語、B 教科書が 23 語、C 教科書が 19 語の順で出現した。

A 教科書以外には非基本語彙は全く使用せず、基本語彙一致比率は平均 99.4 となった。

基本語彙の反映比率は、A 教科書が 37.1%、D 教科書が 34.6%、E 教科書が 33.3%、B 教科書が 29.5%、C 教科書が 24.4%となっている。基本語彙の反映比率の平均は 31.78%で、B 教科書は平均にも及ばないことが分かる。

5 種の教科書はすべて基本語彙の一致率は高いことが分かったが、基本語彙の反映比率はすべての教科書が 4 割以下であることが分かる。

＜表 4＞の各教科書に現れたナ形容詞の基本語彙数を見ると、平均 11.4 語で E 教科書が 15 語で最も多いことが分かった。次に、A 教科書 12 語、C 教科書 11 語、D 教科書 10 語、B 教科書 9 語の順で出現した。

次に、基本語彙の反映比率は、E 教科書 42.9%、A 教科書 34.3%、C 教科書 31.4%、D 教科書 28.6%、B 教科書 25.7%で、平均 32.6%で、B・C・D 教科書は平均を下回っていることが分かる。

5 種の教科書はいずれも非基本語彙を全く使わないため、基本語彙の一致率は高いが、基本語彙の反映率はすべての教科書が半分を下回っていることが分かった。

### 5.3 各教科書に示された形容詞の共通語彙

各教科書に共通して収録されたイ形容詞とナ形容詞の語彙は、以下の＜表 5＞、＜表 6＞の通りである。

＜表 5＞に示すように、「いい/良い」、「美味しい」、「面白い」、「辛い」、「高い」、「楽しい」、「ない」、「安い」で 8 つの語彙がすべて 5 種の教科書に収録されていた。4 種教科書の共通語彙は「赤い」、「大きい」、「可愛い」、「すごい」、「小さい」、「長い」、「速い」、「よろしい」で 8 語、3 種教科書の共通語彙は「青い」、「甘い」、「痛い」、「多い」、「近い」、「難しい」で 6 語、2 種教科書の共通語彙は「危ない」、「嬉しい」、「黄色い」、「寒い」、「白い」、「欲しい」、「悪い」で 7 語であることが分かる。

1 種の教科書にのみ収録された語彙は「暑い」、「いけない」、「うまい」、「近い」、「かつこいい」、「悲しい」、「軽い」、「汚い」、「黒い」、「詳しい」、「少ない」、「酸っぱい」、「強い」、「遠い」、「早い」、「まずい」、「丸い」、「短い」、「珍しい」、「易しい」、「優しい」で 21 語である。

「悲しい」を除いては基本語彙であるにもかかわらず、4種の教科書には収録されていない問題点が見られる。

各教科書に共通して収録されたナ形容詞は、以下の〈表6〉の通りである。

〈表6〉に示すように、「きれいだ」、「上手だ」、「好きだ」、3語がすべて5種の教科書に収録されていた。4種教科書の共通語彙は「静かだ」、「大変だ」で2語、3種教科書の共通語彙は「元気だ」、「すてきだ」、「大丈夫だ」、「にぎやかだ」、「有名だ」で5語、2種教科書の共通語彙は「いろいろだ」、「簡単だ」、「嫌いだ」、「大好きだ」で4語と調査された。

1種の教科書にのみ収録された語彙は「一生懸命だ」、「いやだ」、「同じだ」、「結構だ」、「親切だ」、「大事だ」、「駄目だ」、「得意だ」、「下手だ」、「まじめだ」、「立派だ」で、11語である。

〈表5〉 教科書で収録されたイ形容詞の共通語彙

共通	イ形容詞語彙	計
5種	いい/良い、美味しい、面白い、辛い、高い、楽しい、ない、安い	8
4種	赤い、大きい、可愛い、すごい、小さい、長い、速い、よろしい	8
3種	青い、甘い、痛い、多い、近い、難しい	6
2種	危ない、嬉しい、黄色い、寒い、白い、欲しい、悪い	7
1種	暑い、いけない、うまい、近い、かつこいい、悲しい、軽い、汚い、黒い、詳しい、少ない、酸っぱい、強い、遠い、早い、まずい、丸い、短い、珍しい、易しい、優しい	21

〈表6〉 教科書で収録されたナ形容詞の共通語彙

共通	ナ形容詞語彙	計
5種	きれいだ、上手だ、好きだ	3
4種	静かだ、大変だ	2
3種	元気だ、すてきだ、大丈夫だ、にぎやかだ、有名だ	5
2種	いろいろだ、簡単だ、嫌いだ、大好きだ	4
1種	一生懸命だ、いやだ、同じだ、結構だ、親切だ、大事だ、駄目だ、得意だ、下手だ、まじめだ、立派だ	11

## 6. 考察

5種の高等学校『日本語I』教科書を分析した結果、イ形容詞とナ形容詞共に教育部が提示した基本語彙はよく反映しているが、基本語彙全体の半分にも及ばないという問題点が見られるため、改善する必要があると考える。

教科書別の共通語彙を見てみると、基本語彙であるにもかかわらず1種の教科書でしか扱っていない語彙が多く、教科書間の差が大きいことが分かった。これは学習の不均衡を招く可能性があるため、教科書間の共通語彙を増やし、教科書間の一貫性を保つ必要がある。

問題点を基に、より良い形容詞学習のために次のような改善案を提案したいと考える。

教育目標に合致するためには、基本語彙の選定時に日常生活で多く使われる形容詞語彙の選定が必要である。したがって、日本国立国語研究所が提供する『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)を活用して使用頻度の高い語彙を基本語彙として選定することを提案する。

また、学習不均衡を防ぎ、教科書間での共通性を高めるために、基本語彙の中でも必ず使わなければならない必須語彙を別に提示することを提案する。

最後に、1種の教科書だけに扱う語彙も基本語彙から大きく外れないことから、教科書に現れた形容詞の語彙数が制限されていることが分かる。したがって、多様な形容詞語彙を身につけることができるように各教科書の形容詞語彙をより多く収録することを提案する。

## 7. 終わりに

本研究では、韓国の現在施行中の「2015 改正教育課程」の『日本語 I』教科書での使用様相を把握しようと試みた。その分析結果は以下の通りである。

「2015 改正教育課程」で教育部が提示した基本語彙はイ形容詞が 78 語であるが、『日本語 I』教科書 5 種に現れたイ形容詞の基本語彙を調べた結果、A 教科書が 29 語、B 教科書が 23 語、C 教科書が 19 語、D 教科書が 27 語、E 教科書が 26 語で、教科書ごとに語彙が 10 語以上の違いを見せている。ナ形容詞の場合、教育部が提示した基本語彙は 35 語であり、A 教科書が 12 語、B 教科書が 9 語、C 教科書が 11 語、D 教科書が 10 語、E 教科書が 15 語であることが分かった。

このように教科書別に出現語彙数に差があり、学習不均衡が起きないように今後の教科書製作時に互いに合わせる必要があると見られる。

また、教科書間の共通語彙において、イ形容詞の場合、5 種の教科書に共通して収録された語彙が 8 語、4 種共通語彙が 8 語、3 種共通語彙が 6 語、2 種共通語彙が 7 語、1 種共通語彙が 21 語であることが分かった。ナ形容詞の場合、5 種の教科書に共通して収録された語彙が 3 語、4 種共通語彙が 2 語、3 種共通語彙が 5 語、2 種共通語彙が 4 語、1 種共通語彙が 11 語であることが分かった。

1 種の教科書だけで扱う語彙も基本語彙であるため、改善が急がれると言える。

問題点改善のため、基本語彙選定時に『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)活用、必須語彙提示、各教科書間の語彙数の拡大を提案し、これを考慮して今後より良い教科書が作られることを期待する。

今後の課題としては、「2015 改正教育課程」に属する教科書『日本語 I』にとどまらず、『日本語 I』の延長線である『日本語 II』を含むすべての教科書を分析したいと考える。さらに、効果的な形容詞教育のために、出現頻度と形容詞活用型まで分析して詳細な研究を今後の研究課題として残したい。また、来年から施行される「2022 改正教育課程」も調査し、「2015 改正教育課程」からどのように変化したかも比較・分析したいと考える。

## 注

(1) 教育科学技術部 (2015) 『第 2 外国語科教育課程第 2015-74 号』 p. 293

(2) 『日本国語大辞典』. ジャパンナレッジ, <https://japanknowledge.com/lib/search/basic/>? (最



終閱覽日 2024. 08. 01.)

## 参考文献

[教科書] (<表 1 > 参照)

박윤원 외 6 명(2017) 『고등학교 일본어 I』(주) 길벗 박·윤·웬·오·남·이·정·현 他 6 名(2017) 『高等学校日本語 I』 Gilbut

박행자 외 7 명(2017) 『고등학교 일본어 I』(주) 능률교육 박·행·자·외·7·명 他 7 人(2017) 『高等学校日本語 I』 能率教育

배홍철 외 6 명(2017) 『고등학교 일본어 I』(주) 천재교과서 배·홍·철·외·6·명 他 5 名(2017) 『高等学校日本語 I』 天才教科書

오현정 외 5 인(2017) 『고등학교 일본어 I』(주) 미래엔 오·현·정·외·5·인 他 5 人(2017) 『高等学校日本語 I』 MiraeN

윤강구 외 3 명(2017) 『고등학교 일본어 I』(주) 다락원 윤·강·구·외·3·명 他 3 名(2017) 『高等学校日本語 I』 darakwon

[書籍・論文]

교육과학기술부(2015) 『제 2 외국어과 교육과정 제 2015-74』p.293 教育科学技術部 (2015) 『第 2 外国語科教育課程第 2015-74 号』 p. 293

김명선 (2015) 「2007 개정 교육과정 고등학교 「일본어I」 교과서의 형용사 어휘 분석 - 일본어(I) 교과서와 수능기출문제의 형용사 비교·분석을 통해 -」 목포대학교 교육대학원 석사학위논문  
金明宣 (2015) 「2007 改正教育課程の高校日本語(I)教科書の形容詞語彙分析 -日本語(I)教科書と修能既出問題の形容詞比較・分析を通じて」 木浦大學校教育大學院修了學位論文

이성애 (2012) 「고등학교 일본어 교과서에 나타난 형용사에 관한 고찰 -제 7 차 교육과정을 중심으로-」 경남대학교 교육대학원 석사학위논문 李聖愛 (2012) 「A study on the adjectives in Japanese textbook of high school : focusing on the seventh curriculum」 慶南大學校教育大學院修了學位論文

함찬술(2021) 「2015 개정 교육과정 고등학교 『일본어 I』 교과서의 어휘 연구」 부산대학교 교육대학원 석사학위논문 咸·찬·술(2021) 「2015 改訂教育課程高等学校『日本語 I』教科書の語彙研究」 釜山大學校教育大學院修了學位論文

[사이트]

국가교육과정정보센터 國家教育課程情報センター <https://ncic.re.kr/mobile.index2.do>

日本国語大辞典. ジャパンナレッジ, <https://japanknowledge.com/lib/search/basic/?>

## 【付録】

高等学校『日本語 I』5 種教科書に収録されている形容詞語彙を調査し、基本語彙と対照して表に示した。

形容詞は五十音順で表した。

【付録 I】基本語彙と各教科書の‘い’形容詞

番号	語彙	基本語彙	A	B	C	D	E
1	青い	○	○	○		○	
2	赤い	○		○	○	○	○
3	明るい	○					
4	暖かい (あったかい)	○					
5	新しい	○					
6	暑い	○				○	
7	熱い	○					
8	危ない	○		○			○
9	甘い	○	○		○		○
10	いい/良い	○	○	○	○	○	○
11	いけない	○					○
12	忙しい	○					
13	痛い	○	○	○			○
14	薄い	○					
15	美しい	○					
16	うまい	○				○	
17	うるさい	○					
18	嬉しい	○			○		○
19	美味しい	○	○	○	○	○	○
20	多い	○	○	○			○
21	大きい	○	○	○		○	○
22	おかしい	○					
23	遅い	○	○				
24	重い	○					
25	面白い	○	○	○	○	○	○
26	硬い	○					
27	かっこいい	○				○	
28	悲しい		○				
29	辛い	○	○	○	○	○	○
30	軽い	○			○		
31	可愛い	○	○		○	○	○
32	黄色い	○			○	○	
33	汚い	○	○				
34	暗い	○					
35	黒い	○				○	

36	詳しい	○					○
37	細かい	○					
38	怖い	○					
39	寒い	○		○		○	
40	親しい	○					
41	白い	○		○		○	
42	少ない	○	○				
43	すごい	○	○	○	○	○	
44	涼しい	○					
45	酸っぱい	○					○
46	素晴らしい	○					
47	狭い	○					
48	高い	○	○	○	○	○	○
49	正しい	○					
50	楽しい	○	○	○	○	○	○
51	小さい	○	○	○	○		○
52	近い	○	○			○	○
53	冷たい	○					
54	強い	○	○				
55	遠い	○	○				
56	ない	○	○	○	○	○	○
57	長い	○	○		○	○	○
58	眠い	○					
59	早い	○		○			
60	速い	○	○	○		○	○
61	低い	○					
62	広い	○					
63	深い	○					
64	太い	○					
65	古い	○					
66	欲しい	○			○		○
67	細い	○					
68	まずい	○	○				
69	丸い	○				○	
70	短い	○	○				
71	難しい	○	○	○		○	
72	珍しい	○					○

73	易しい	○				○	
74	優しい	○	○				
75	安い	○	○	○	○	○	○
76	よろしい	○		○	○	○	○
77	弱い	○					
78	若い	○					
79	悪い	○	○	○			

【付録Ⅱ】基本語彙と各教科書の‘な’形容詞

番号	語彙	基本語彙	A	B	C	D	E
1	一生懸命だ	○			○		
2	いやだ	○			○		
3	いろいろだ	○				○	○
4	同じだ	○				○	
5	簡単だ	○	○		○		
6	嫌いだ	○	○		○		
7	きれいだ	○	○	○	○	○	○
8	結構だ	○					○
9	元気だ	○		○	○		○
10	残念だ	○					
11	静かだ	○	○	○	○		○
12	邪魔だ	○					
13	十分だ	○					
14	上手だ	○	○	○	○	○	○
15	丈夫だ	○					
16	親切だ	○					○
17	好きだ	○	○	○	○	○	○
18	すてきだ	○	○			○	○
19	大事だ	○		○			
20	大丈夫だ	○	○		○		○
21	大好きだ	○	○				○
22	大切だ	○					
23	大変だ	○		○	○	○	○
24	駄目だ	○				○	
25	得意だ	○					○
26	苦手だ	○					
27	にぎやかだ	○	○	○		○	

28	暇だ	○					
29	不便だ	○					
30	下手だ	○	○				
31	便利だ	○					
32	まじめだ	○					○
33	迷惑だ	○					
34	有名だ	○	○	○		○	
35	立派だ	○					○

## 2023 年度 日本語・日本文化研修留学生

氏名	出身大学	受入教員
1 ピティウィラ リヤナゲー ドゥラーンジャリー カウシャルヤー (PITIWILA LIYANAGE Dulanjalee Kaushalya)	ケラニア大学 (スリランカ)	菅谷奈津恵 教授 (高度教養教育・学生支援機構)
2 裴 貞炫 (BAE Jeonghyun)	忠南大学 (韓国)	大木一夫 教授 (文学部)

2023-2024 日本語・日本文化研修留学生報告書  
日本語・日本文化レポート集

2024 年 9 月発行  
東北大学高等教養教育・学生支援機構  
言語・文化教育センター

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 41  
URL: <https://www.jlpk.ihe.tohoku.ac.jp/ja/>